

医歯学総合研究科  
修士課程  
医歯理工学専攻  
医療管理政策学（MMA）コース  
履修要項

平成 29 年度

東京医科歯科大学大学院

# 目 次

1 . 医療管理政策学 ( MMA ) コースの概要.....	1
2 . 修了要件及び履修方法.....	4
3 . 平成29年度医療管理政策学 ( MMA ) コース授業時間割.....	7
4 . 授業科目.....	9
系名 : 1 . 医療政策	
( 1 ) 医療提供政策論 : 4011 .....	14
( 2 ) 医療社会政策論 : 4012 .....	16
( 3 ) 世界の医療制度 : 4013 .....	18
( 4 ) 医療保険論 : 4014 .....	20
( 5 ) 医療計画制度 : 4016 .....	22
( 6 ) 医療産業論 : 4017 .....	24
( 7 ) 医療経済論 : 4018 .....	26
系名 : 2 . 医療の質確保とリスク管理	
( 1 ) 医療と社会の安全管理 : 4021 .....	28
( 2 ) 医療機関リスク管理 : 4022 .....	30
( 3 ) 医療の T Q M : 4023 .....	32
( 4 ) 医療機能評価 : 4024 .....	34
系名 : 3 . 医療関連法規と医の倫理	
( 1 ) 医療制度と法 : 4031 .....	36
( 2 ) 医事紛争と法 : 4032 .....	38
( 3 ) 生命倫理と法 : 4033 .....	40
系名 : 4 . 病院情報とセキュリティ	
( 1 ) 病院情報管理学 : 4041 .....	42
( 2 ) 診療情報管理学 : 4042 .....	44
( 3 ) I T 時代の医療診断システムとセキュリティ : 4043 .....	46
系名 : 5 . 医療の国際文化論	
( 1 ) 医療思想史 : 4051 .....	48
( 2 ) 世界の文化と医療 : 4052 .....	50
( 3 ) 世界の宗教と死生観 : 4053 .....	52
系名 : 6 . 施設設備と衛生管理	
( 1 ) 病院設計・病院設備 : 4061 .....	54
( 2 ) 衛生工学・汚染管理 : 4062 .....	56

系名：7．経営戦略と組織管理	
(1) 戦略と組織：4071 .....	58
(2) 財務・会計：4072 .....	60
(3) 医療の人間工学：4073 .....	62
系名：8．人的資源管理と人材開発	
(1) 人的資源管理：4081 .....	64
(2) 人材の開発と活用：4082 .....	66
(3) 医療におけるリーダーシップ論：4083 .....	68
系名：9．医療における情報発信	
(1) 医療とコミュニケーション：4091 .....	70
(2) 医学概論：4093 .....	72
系名：10．臨床疫学	
(1) 臨床研究・治験：4101 .....	74
(2) 健康情報データベースと統計分析：4102 .....	76
5．諸規則	
東京医科歯科大学大学院学則.....	80
東京医科歯科大学大学院履修規則.....	101
東京医科歯科大学学位規則.....	105
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科委員会修士 (医療管理学・医療政策学)に係る学位論文審査及び試験内規 .....	110
東京医科歯科大学大学院学位論文審査基準.....	116
東京医科歯科大学大学院G P A制度に関する要項.....	117
○東京医科歯科大学大学院G P A制度の運用.....	119
○東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ.....	120
6．学生周知事項.....	128
7．諸手続き.....	132
○履修登録科目取消願.....	137
○授業欠席届.....	138
8．学内主要施設.....	139
9．校内案内図.....	139
10．学術総合センターアクセスマップ.....	140

## 1. 医療管理政策学(MMA)コースの概要

### ○背景

近年、医療を取り巻く環境は大きく変化しつつあり、医療サービスの管理運営や医療政策の実務において、高度な学術的知識と技術を備えた人材が必要となっている。米国における医療サービスの管理運営では、MBA (Master of Business Administration) の学位を持つ者が携わることがあるが、医療制度の異なる我が国においては、医師が医療機関の運営に携わることが従来からの慣行であった。

しかし、医療の高度化と複雑化に対応するためには、医療機関の運営や医療政策の実務に役立つ専門知識が必須である。即ち、効率的でかつ患者中心の医療を国際的な水準で提供し、国際化に伴う健康危機に円滑に対応するには、医学知識とともに医療組織を管理するマネジメント能力が必要となってきた。

そこで、質の高い医療サービスを提供するための戦略的な管理運営を行う知識と技能を備えた医療管理政策に携わる専門職の養成を図るべく、病院管理者ならびに医療政策等の立案に携わる社会人を対象に、四大学連合（東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学）による本コースを開設するに至った。

### ○特色

少子高齢化を背景とする国民医療費・社会保障費の高騰、良質で安全な医療サービスの提供の必要性、競争原理の一肩の導入、国際化・グローバル化する医療経営環境、患者の主体性の重視等、医療を取り巻く社会環境が急速に変化している。このような状況にあって、今後の医療機関運営では、医学だけでなく医療サービス管理と政策の高度な知識と技術が必要である。

本コースは、医療管理並びに医療政策の分野において指導的立場で活躍する人材の養成を図り、医療サービスに関わる社会的ニーズに応えようとするものである。急速な制度改革、グローバル化が進む医療の分野にあって、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムの構築に寄与する人材を輩出しようとするものである。

### ○社会的ニーズ

現在、我が国の医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、疾病構造の変化、医療技術等の進歩による国民医療費の増大などで急速に変化しつつある。また、医療に対する国民のニーズは多様化し、医療の質の確保や医療事故の防止が目下の急務となっている。これらの医療環境の変化に対応するには、医療機関の経営方法が大きな問題となってきた。

また、医療施設の機能分化も進み、民間の品質管理の手法も導入され、医療機能評価機構による医療施設の第三者評価を受ける施設も増加してきている。

こうしたなか、各医療機関の管理者は、安全対策の強化、EBM (Evidence-Based Medicine) の遂行インフォームド・コンセントやカルテ開示等による医師と患者の関係、電子カルテによる IT 技術の導入とその運営方法など、社会的にも経営的にも大きな変革を求められてきている。

医療環境や各種報告されている医療の方向性等を正確に認識し、良質の医療を提供するためには、医療関連分野を網羅した包括的な研究・教育が必要である。そのためには、幅広い周辺諸科学の知識を持つ、医療機関の管理運営責任者、及び科学的根拠に基づいた政策の立案・実施・評価を行う専門家の養成が急務となっている。

## 人材育成目標

医療管理政策学コースは医療サービスに関わる社会的ニーズに応えるため、指導的立場で活躍する人材養成課程を基に医療管理ならびに医療政策の分野において、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムの構築に寄与する人材を育成する。

## アドミッションポリシー

医療管理政策学コースにおいては医療サービスに関わる社会的ニーズに応えるため、指導的立場で活躍する人材養成課程を基に医療管理ならびに医療政策の分野において、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムの構築に寄与する人材を育成する。

本専攻が掲げる育成目標に鑑みて、下記に該当する者を求める。

- ・医療管理政策学を学習するのに必要な基礎知識又は実務経験を有し、医療管理政策の展望について自らの考えを論理的に表現することができ、さらなる専門知識を体系的・集中的に学びとる意欲を有している。

## カリキュラムポリシー

1. 医療管理政策学コースにおいては、医療管理および医療政策の理解・実践・展開に必要な講義科目を10系統の領域（①医療政策、②医療の質確保とリスク管理、③医療関連法規と医の倫理、④病院情報とセキュリティ、⑤医療の国際文化論、⑥施設設備と衛生管理、⑦経営戦略と組織管理、⑧人的資源管理と人材開発、⑨医療における情報発信、⑩臨床疫学）について基礎から実務にわたり共通に開設している。
2. 医療管理学コース、医療政策学コースそれぞれに必修科目を含めた履修モデルを設定している。
3. 医療管理学コースは1年間、医療政策学コースは2年間で履修する。
4. 講義のスケジュールは、系統間および系統内の関連を考慮して配置されている。また、学生の利便性を考慮し、授業の開始は18時以降からとなっている。
5. 研究を自ら立案・遂行できる能力を修得させるカリキュラム構成としている。

## **ディプロマポリシー**

所定の期間在学し、医歯理工学専攻の開設科目や本専攻が認めた他大学の授業科目を履修して修了要件単位数を修得し、本専攻が行う修士論文又は課題研究報告の審査および最終試験に合格した以下のいずれかの学識および実務能力を修得した者に、対応する名称の学位を授与する。

### **修士（医療管理学）**

医療提供施設等における管理的業務、あるいは医療管理学領域の研究、教育に従事できる人材となっており、高度な学識および実務能力を修得している。

### **修士（医療政策学）**

行政機関での医療等の政策立案業務、医療政策領域の研究、教育、そして保健医療政策や関連する事業に従事できる人材となっており、高度な学識および実務能力を修得している。

## 2. 修了要件及び履修方法

### 1. 修了要件

#### ・医療管理学コース

本コースに1年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、所定の試験に合格すること。

#### ・医療政策学コース

本コースに2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、所定の試験に合格すること。

### 2. 履修方法

履修登録は、所定の期間内に登録の手続きを行わなければならない。履修登録の受付は統合教育機構学務企画課にて行う。

#### 履修科目について

本コースにおいて修得すべき30単位の履修方法は、次のとおりとする。

#### ・医療管理学コース

- ① 医療管理学コースの必修科目16単位のうち13単位以上、その他の科目とあわせて合計22単位以上を履修し、課題研究8単位を履修する。
- ② 履修科目の変更は原則として認めない。

#### ・医療政策学コース

- ① 医療政策学コースの必修科目13単位のうち11単位以上、その他の科目とあわせて合計22単位以上を履修し、課題研究8単位を履修する。
- ② 履修科目の変更は原則として認めない。
- ③ 履修科目を追加する場合は、各年度当初に履修登録を受け付ける。

### 3. 成績

#### 1) 成績評価について

授業科目の成績は、以下の基準に従い、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。

評 価		G P	評価基準	
合 格	秀	90～100点	4	当該科目の目的をほぼ完全に達成したもの
	優	80～89点	3	当該科目の目的を十分に達成したもの
	良	70～79点	2	当該科目の目的を達成したもの
	可	60～69点	1	当該科目の目的の最低限は達成したもの
不合格	不可	0～59点	0	当該科目の目的には及ばないもの

## 2) GPAについて

GPAとは、履修した各科目の成績評価に対して、それぞれポイント(GP)を定め、成績の平均値を示す成績評価結果の表示方法のひとつである。GPAは当該年度のものと同積のものを算出するが、成績証明書には累積GPAを表示するものとする。

### I. GPA算出方法

$$\frac{\text{「秀」修得単位数} \times 4 + \text{「優」修得単位数} \times 3 + \text{「良」修得単位数} \times 2 + \text{「可」修得単位数} \times 1 + \text{「不可」修得単位数} \times 0}{\text{履修登録単位数}}$$

※小数点第3位以下は切り捨て

### II. 履修取消について

履修取消とは、一旦履修登録した科目を大学の定める一定期間※に本人からの請求により、履修を取り消すことをいう。履修取消を行った科目に関しては、GPAには算入されず、成績証明書にも記載されない。

履修取消の手続きは、所定の様式(履修登録科目の取消願)により統合教育機構学務企画課に提出する。なお、期間内に履修取消の手続きを行わない場合には、当該授業科目の成績を「不可」とする。

## 4. 講義時間

※ 履修取消の期間は、3日目の講義が開始されるまでとする。

MMAの講義は18時以降の時間帯に行う。

時限	MMA 1時限目	MMA 2時限目
授業時間	18:00~19:30	19:40~21:10

※授業に出席する際には、講義室入口横に設置されている出席管理端末のタッチパネルに必ず学生証をかざすこと。

## 5. 講義室、実習室

講義は大学院講義室2で行われるので、講義室の場所を把握しておくこと。また、MMA院生共同研究室(MMA図書室)を利用することができる。なお、講義室等に個人の所有物などを放置しないように注意すること。

湯島地区	M&Dタワー13階	大学院講義室2
	M&Dタワー12階	MMA院生共同研究室 (MMA図書室)



開設科目及び修得単位一覧表

系名	科目名	科目コード	単位数	必修科目	
				医療管理	医療政策
	課題研究	4000	8	○	○
1. 医療政策	1 医療提供政策論	4011	1	○	○
	2 医療社会政策論	4012	1		○
	3 世界の医療制度	4013	1		○
	4 医療保険論	4014	2	○	○
	6 医療計画制度	4016	1		○
	7 医療産業論	4017	2		
	8 医療経済論	4018	2		
	2. 医療の質確保とリスク管理	1 医療と社会の安全管理	4021	1	
2 医療機関リスク管理		4022	1	○	○
3 医療のTQM		4023	1	○	○
4 医療機能評価		4024	1	○	○
3. 医療関連法規と医の倫理	1 医療制度と法	4031	1		○
	2 医事紛争と法	4032	1	○	
	3 生命倫理と法	4033	1	○	
4. 病院情報とセキュリティ	1 病院情報管理学	4041	1	○	○
	2 診断情報管理学	4042	1	○	
	3 IT時代の医療診断システムとセキュリティ	4043	1		
5. 医療の国際文化論	1 医療思想史	4051	1		○
	2 世界の文化と医療	4052	1		
	3 世界の宗教と死生観	4053	1		
6. 施設整備と衛生管理	1 病院設計・病院設備	4061	1	○	○
	2 衛生工学・汚染管理	4062	1	○	
7. 経営戦略と組織管理	1 戦略と組織	4071	1	○	
	2 財務・会計	4072	1	○	
	3 医療の人間工学	4073	1	○	
8. 人的資源管理と人材開発	1 人的資源管理	4081	1	○	
	2 人材の開発と活用	4082	1	○	
	3 医療におけるリーダーシップ論	4083	1		
9. 医療における情報発信	1 医療とコミュニケーション	4091	1		
	2 医学概論	4093	1		
10. 臨床疫学	1 臨床研究・治験	4101	1		
	2 健康情報データベースと統計分析	4102	1		

